

第2部

環境の現況と対策

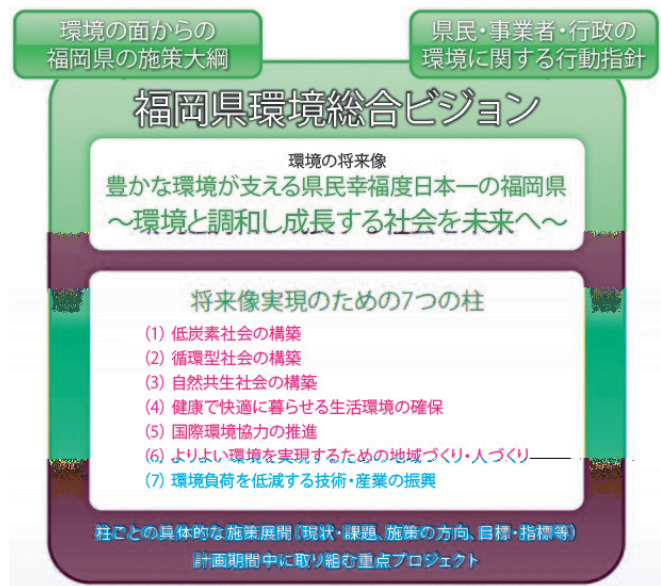
第1章 福岡県環境総合ビジョンと計画指標の動向

本県では、21世紀の環境を保全し創造するため、平成15年に「福岡県環境総合基本計画」（計画期間：15年度～24年度）を策定し、環境に関する施策を推進してきました。計画期間終了時点で、「身近な自然の保全・再生」「化学物質の適正な管理」「環境国際協力の推進」「自主的取組の促進とパートナーシップ」等のテーマにおいては目標を達成しましたが、「きれいな空気の確保」「まちの緑、水辺の保全・創造」「温室効果ガスの排出削減」等においては目標達成には至っていない状況でした。

上記のような課題に加え、地球温暖化の進行による気候変動、資源やエネルギーの確保、地域固有の生態系のかく乱、越境大気汚染などの国境を越えた環境問題など、より深刻化した課題や新たな課題に直面しています。

また、環境問題の解決にあたっては、他の行政分野との連携や、行政だけでなく、県民・事業者の主体的な行動が不可欠です。

このような、今日の環境を取り巻く情勢に適切に対応し、本県の豊かで安全・安心な環境を将来世代に引き継いでいくため、25年3月に第3次環境総合基本計画「福岡県環境総合ビジョン」（計画期間：25年度～29年度）を策定しました。



1 位置付けと役割

県政運営の基本である福岡県総合計画（計画期間：平成24年度～28年度）を踏まえ、環境面に関する事項を実現していくためのものであり、下記の2つの役割を持っています。



- ・県における環境に関する施策の基本的な方向性を示し、環境の面から総合的、計画的に県行政を推進するための施策大綱
- ・県民、事業者、行政など、すべての主体が環境に関し考え行動する際の指針

2 将来像と施策体系

環境総合ビジョンでは、豊かな環境が支える県民幸福度日本一の福岡県を目指して、環境と調和し成長する社会を未来へつなぐため、7つの柱を設定し、柱ごとの具体的な施策を示しています。



柱ごとの施策体系

柱	施策
 <p data-bbox="209 443 343 584">1 低炭素社会の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="662 432 1238 461">① 地球温暖化の緩和、適応のための総合的な対策の推進<li data-bbox="662 472 898 501">② 省エネルギーの推進<li data-bbox="662 512 1038 542">③ 多様な低炭素型エネルギーの確保<li data-bbox="662 553 1166 582">④ 温室効果ガス吸収源の確保、長期固定化の推進
	

3 推進体制・進行管理

(1) 推進体制

- ・福岡県における総合的な計画推進

P D C A サイクルによる継続的な改善を図るため、庁内協議機関である福岡県環境対策協議会（会長：副知事、委員：各部長及び教育長）を活用し、全庁的な進捗状況・問題点等の共有を行い計画の推進を図るとともに、必要に応じて施策の見直し・強化等を検討します。

- ・県民、事業者、行政など各主体との連携による計画推進

県民団体、事業者団体、行政が参加する福岡県環境県民会議を活用し、各主体の活動テーマに反映させ、一体となって計画の推進を図ります。

- ・地域連携による計画推進

各保健福祉環境事務所に設置されている地域環境協議会を活用し、地域が一体となって計画の推進を図ります。

市町村等と連携した取組、本環境総合ビジョンや環境に関する情報発信、コミュニケーションを積極的に実施し、地域における計画の推進を図ります。

- ・広域連携による計画推進

大気汚染物質の移流や海岸漂着物対策など、県域や国境を越えた環境問題に対処するため、必要に応じ、関係自治体や他国自治体との連携、国への働きかけ等を行い計画の推進を図ります。

(2) 進行管理

- ・進捗状況の点検及び公表

指標の動向やその要因、施策の実施状況などについて点検を行い、福岡県環境対策協議会に報告するとともに、計画の進捗状況についてとりまとめを行い、環境白書により公表します。

- ・環境の状況変化等に応じた計画の見直し

環境の状況変化、国内外の環境政策の動向や計画の進捗状況を踏まえ、必要に応じて計画期間中であっても見直しを行います。

4 指標の動向

環境総合ビジョン指標一覧

※進捗状況凡例：◎ 目標値達成、○ 向上、△ 横ばい、▽ 後退

柱	指標項目	計画策定時 (平成23年度)	最終年度目標値 (平成29年度)	進 捗 (平成27年度)
低炭素社会 の構築	温室効果ガス排出量 ※2	5,965万トン (平成22年度) (注:推計の元となる統計データ 修正により見直し)	平成28年度中に策定する次 期地球温暖化対策実行計画 において平成42年度の目標 を設定	- 6,393万トン (平成25年度)
	再生可能エネルギー発電設 備の導入容量 ※1	350,055kW (注:実績値を350,051kWに 修正(H25.9))	647,000kW	◎ 1,727,713kW
	荒廃森林の再生面積(累積 面積) ※1	9,895ha	29,000ha	○ 21,022ha
循環型社会 の構築	一般廃棄物の排出量、再生 利用率 ※1 (改定された廃棄物処理計画の新 目標に基づき、検討中) (注)災害廃棄物は含まれていな い	1,848千トン 24% (平成22年度)	1,734千トン 25% (平成27年度)	△ 1,846千トン 22% (平成27年度(速報値))
	産業廃棄物の排出量、再生 利用率 ※1 (改定された廃棄物処理計画の新 目標に基づき、検討中)	10,689千トン 54% (平成22年度)	14,454千トン 61% (平成27年度)	▽ 15,315千トン 51% (平成26年度)
	リサイクル技術の実用化件 数(累積件数) ※1	20件	29件以上	○ 27件
自然共生 社会の構築	福岡県の希少野生生物ウェ ブサイトアクセス数	78,727回	86,600回	◎ 118,550回
	多自然川づくりの整備状況	29か所、9河川	継続して推進する	◎ 31か所、8河川
	荒廃森林の再生面積(累積 面積) (再掲)	(再掲)	(再掲)	(再掲)
健康で快適に 暮らせる生活 環境の確保	環境基準の達成率(大気、 水、ダイオキシン(DXN) 類、騒音) ※2	大気(SPM、NO ₂ :48.6%(全地点)) 水(BOD、COD:78.3%(全地点)) DXN類(全項目100%) 騒音(自動車騒音91.1%)	環境基準の達成・維持を図 る	○ 大気(SPM、NO ₂ :100%(全地点)) 水(BOD、COD:88.9%(全地点)) DXN類(全項目100%) 騒音(自動車騒音95.9%)
	地域固有の自然環境や心地 よい環境を楽しむことがで きる場所の数	快適な環境スポット30選、 棚田百選等 50か所	増加を目指す	◎ 53か所

柱	指標項目	計画策定時 (平成23年度)	最終年度目標値 (平成29年度)	進捗 (平成27年度)
国際環境協力の推進	自治体間の環境協力協定の締結数 ※1	3か所	4か所	△ 3か所
	国際環境人材育成事業参加者数 ※1	84人	164人以上	○ 159人
よりよい環境を実現するための地域づくり・人づくり	エコトン認知度	10.4%	増加を目指す	◎ 33.6%
	福岡県環境ウェブサイトアクセス数 ※2	421,738回	464,000回	◎ 497,330回
	環境講座・環境イベント等の開催数 ※2	1,805回	1,925回	◎ 2,288回
	各保健福祉環境事務所地域環境協議会における事業実施数(累積実施数)	— ※平成25年度から実施	増加を目指す	◎ 12回
環境負荷を低減する技術・産業の振興	リサイクル技術の実用化件数(再掲)	(再掲)	(再掲)	(再掲)
	福岡県の試験研究機関における環境関連技術の開発件数(累積件数)	18件	増加を目指す	◎ 45件
	再生可能エネルギー発電設備の導入容量(再掲)	(再掲)	(再掲)	(再掲)
	減農薬・減化学肥料栽培面積 ※1	3,544ha	4,500ha以上	◎ 4,601ha

※1 福岡県総合計画と共通

※2 福岡県環境総合基本計画(第二次)と共通